

7月9日 知識と学びを深めるために
ケンブリッジ高校へ短期留学



ケンブリッジとの教育交流の一環として、ケンブリッジ高校に短期留学する高校生4名が出発の前に役場を訪問されました。

短期留学するのは(写真左から)吉本楽さん、松本美和子さん、佐久間一花さん、長島美愛子さんの4名。出発の前に「現地の同年代の人たちがどんなことを学び、何が流行しているのか学びたい」など出発前の心境と抱負を語っていただきました。

6月23日 持続可能な未来のために
コープ未来(あした)の森植樹祭



「コープ未来(あした)の森植樹祭」が日並地区の町有林で開催され、天候にも恵まれた中、コープさっぽろ組合員とその家族など約50名が参加し、カラマツやミズナラ各200本ずつ(0.2ヘクタール分)を植樹しました。この取組はコープさっぽろと美幌町が締結した「森林整備に関する協定」に基づき、令和16年度までの間に町内山林に4ヘクタール、8千本を植栽する予定です。

6月28日 晴天のもとで元気いっぱい!
保育園運動会



美幌保育園



東陽保育園

6月29日 日ごろの練習の成果を披露
文化連盟夏の芸術祭



文化連盟主催の「第32回芸術祭」がびほーるで開催されました。文化活動の発展と願い、例年開催されている芸術祭。今年も日本舞踊や民謡、詩吟、ダンスなど12団体が出演し、日ごろの練習の成果を披露し、来場者からは演目が終わるごとに大きな拍手が送られていました。

各団体はこれから、11月に開催される文化祭に向けて再び練習を積み重ねていきます。

地域おこし協力隊だより



どらなびEXPOで
美幌町をPR!

先日、全国からバス事業者が参加する合同就職イベント「どらなびEXPO」が東京国際フォーラムで開催され、参加してきました。バス運転手を目指す人が多く来場し、各社のブースは説明を聞く人が絶えることなく、北海道から参加していた私が勤務する北見バスも例外ではなかったです。

私は企業説明ではなく、来場者に北海道と美幌町の魅力と生活の楽しさを存分にアピールしました。バス運転手の就職イベントということで、北海道への移住を目指している方ばかりではありませんが、こうした機会を通じ、協力隊として美幌町の魅力発信を今後も続けていきたいと思えます。

そして私事ではありますが、東京でのイベント翌日に地元富山県に帰省し、置きっぱなしにしていた愛車のバイクを持ち帰ってきました。これからバイクのある美幌生活が楽しみです。

はまたに まさゆき
地域おこし協力隊 浜谷 真幸さん

美幌町の皆様へ
ALTからのメッセージ

町内小中学校でALT(外国語指導助手)として勤務されたリー・ジャスティンさんが、2年間の勤務を終えてオーストラリアへ帰国することになりました。



私のことを新しい仲間として迎え、また暖かく支援して下さったことに深く感謝申し上げます。本年8月をもちまして任期を終え帰国いたしますが、この2年間におきましては、小中学校の児童生徒への英語に係る指導に携わりながら、素晴らしいこの町や日本各地を巡り、暖かい皆様との交流の中で多くのことを学び、たくさんの素敵な思い出ができました。

オーストラリアから本町に来ることができて心から良かったと思っています。どこに行っても、長い月日がたっても1日たりとも絶対忘れられない、心に残るものとなっています。

私にとって美幌町が第2のふるさとになりました。今後とも皆様が素晴らしい人生を歩めるよう願っています。またいつか、どこかでお会いできることを楽しみにしております。

受験希望者は応募してください

北海道排水設備工事
責任技術者試験

本町では排水設備工事指定業者に対し、排水設備工事責任技術者の有資格者配置を要件としています。すでに登録済の方は受験不要です。

- 日 10月16日(木) 13:30~15:30
- 📍 釧路口イナルイン (釧路市黒金町14丁目9-2)
- ¥ 7,000円(受験料)
- 申込期間 8月18日(月)~27日(水) 土日を除く 8:45~17:30

- その他
- 試験実施に際し変更がある場合は、一般財団法人札幌市下水道公社のHPでお知らせします。
- 問題集・テキストが販売されています。必要な方は東京官書普及株式会社(☎03-3292-3701)までお問い合わせください。
- 試験前講習会はありません。

問 上下水道課 営業G ☎ 77-6554・窓口14番

北見工業大学 × 美幌町
包括連携協定の取り組み Vol.8



第1次産業と工学との
コラボレーション

北見工業大学では、オホーツク地域の第1次産業の生産性と魅力向上を目指した研究活動を積極的に行っています。工業大学としての強みである工学技術を第1次産業に役立てる研究を進めています。特に自動・ロボット化やICT(情報通信技術)、エネルギーやバイオ食品技術です。

例えば、AI技術により地域が培ってきた生産技術を次世代に継承できるようにすることや、寒冷地域に適応した育苗施設や起伏に富み複雑に入り組んだ丘陵地用の作業機械の実現、第1次産品の機能性抽出による地域資源の高付加価値化への支援につながる研究などです。農・林・水産の分野を超えたユニークな工学的支援の活動にぜひご注目ください。

第1次産業への取組の詳細はこちら



オホーツク農林水産工学連携研究推進センター



問 甲 北見工大 研究協力課 地域連携係
☎ 0157-26-9154(平日9時~17時まで)

町公式SNSでも
まちの話題を発信中!

